

- ・コラム「締め挨拶」(杉浦 良)
- ・お知らせ (おおたか静流チャリティライブ、自転車バザー10時から)
- ・宿泊研修報告
- ・協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

158号/2013

Since 1984

「締め挨拶」

杉浦 良

「今日も一日、大人として、やれる作業をやりましょう！」朝の全体ミーティングの締めの言葉です。少し前までは「いらっしゃいませ！有難うございました！」でした。挨拶の練習として、随分長く使ってきました。

「今まで挨拶などされたことがなかったけど、近頃、挨拶してくれるようになったわ！」と有難い言葉をかけてくださる方も現れ、それはそれでうれしい限りです。ただすでに一般のお店では「いらっしゃいませ！こんにちは！」は当たり前なこと、うちのメンバー達がどう転んでも、このようにサラリとさわやかに、そしてタイミング良くはできません。あれこれ考えましたが「どう訓練をし、努力しても、一般のレベルに到達するのは難しい・・・」というのが正直なところです。「だからこそ日々の反復訓練が必要で、諦めずにやり続けることが大切だ・・・」と言われる方もおられますが、もうやめました。

「どう練習しても他のお店にはかなわないので、今日から朝の締めの挨拶はやめます。その代わりにIさんやTさんに、毎日お茶のサービスをしてもらいます。大谷焼のコーヒーカップに、夏は冷た



ご来店頂いたお客様に、不定期ですが、メンバーがお茶のサービスをさせて頂いております。

い麦茶、寒くなったら暖かい麦茶を入れて、お客さんに提供したいと思います。でも挨拶は今まで通りちゃんとやってね！」

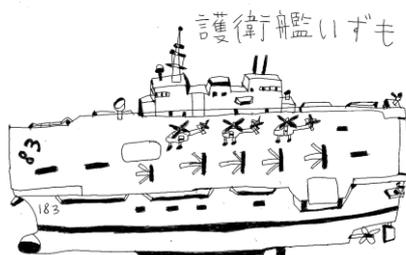
ただ締め挨拶をやめてみると、どうも朝ミーティングがうまく締まりません。その代わりに考えたのが、巻頭の言葉です。キーワードは「大人として」と「やれる作業」です。もう充分おっさんおばさんの方々に、子供のようにはいけませんし、やれない作業を押し付けるのも筋が通りません。仕事にしようかと思いましたが、全体のレベルを考えると、まだ作業の方が実体に則しているだろうと判断しました。

「きょうも、おとなと・・・して、なに・・・やれる・・・さぎょうを・・・やり・・・ましよう・・・か・・・」司会を担当するメンバーのYさんやKさんなど、いつものように流暢には舌が動きません。「もうちょっと、何度も練習してやってよ・・・ふり仮名もちゃんと書いてあるんだから・・・」と急かされつつ、気が抜けた朝ミーティングがしばらく続きました。

ある日、ひよんな拍子に新人メンバーのAさんが、怒りを爆発させてホースリールを足で蹴る出来事がありました。運悪く近くのガラス戸に当たり、下のガラスが割れました。ガラス屋さんに行って行って修理してもらいましたが、そのお蔭で作業の予定が大幅に狂い、安くしていただきましたが、修理代6千円がかかりました。

「ここは学校や施設と違って、この6千円はみんなの給料から出すんだよ！たとえば市民の方々から頂いた衣類を分別し、着られる衣類を季節ごとに分類し、値段を付けて、並べて、お客さんに買っていただき、必要経費を引いてみんなの給料になるわけ・・・。割れなければ修理代6千円は、給料になるってこと！もっと他のメンバーたちが、このことを怒らんといかんのと違う？」そう語る所長Kに「それは・・・そうだ！その通りだ！」とうなづき「きょうも、いちにち、おとなとして、やれるさぎょうを、やりましよう！」そう大声で続けたYさんでした。

8月6日護衛艦監いずもの進水式がありました。けいたい電話で見た時に自分は「うっくしい空母」と思いました。いずもはめずらしい「空母型護衛艦監」です。航空司令部といいますが、日本の航空母艦監の歴史が女台まします。



文
イラスト
藤田さん



イラスト
走川君

お知らせ

おおたか静流チャリティライブ

10月9日午後7時より、徳島市般若院にて、「おおたか静流チャリティライブ4th」を開催。季節外れの暑い日となりましたが、約130人の皆様が来られました。毎回来られている方、初めて来られた方、中には、神戸から来られた方もいらっしゃいました。

太陽と緑の会からはスタッフ6名とメンバーの田村さんが参加し、会場設営、受付から撤収・後片付けまで、サポートさせていただきました。

皆様から寄せられたチャリティ18万3700円(うち、おおたか静流さんよりご提供頂いたCDの販売金2万6700円)を社会福祉法人ありのまま舎(仙台市)に送金し、沿岸部の在宅難病患者の皆様の支援に役立てられます。今回を含めた4回のチャリティライブによる支援総額は82万9274円となります。今後も細く長く支援を続けていきたいと考えています。

(東日本大震災への支援としては、上記以外に、太陽と緑の会単独で、日赤へ18万8780円、ありのまま舎へ87万6975円(メンバー米田さん詩集販売義援金1万4000円含む)を送金しており、これらを含めた支援総額は189万5029円となります)



徳島県職員研修受入

9月30日、10月1日の2日間に渡り、平成25年度NPO法人短期体験研修の受け入れを行いました。3回目となる今年は、男性2名女性2名の皆様が参加。

オリエンテーション2時間、作業体験8時間、意見交換2時間のプログラムで、持ち込みの対応、品物の仕分けから、リユース品の包装・陳列・入替、売場の清掃まで、様々なハンディを持ったメンバーと一緒に作業を体験して頂きました。

最後の意見交換会は、ソーシャルビジネスとしての側面や運営的な面に関する事、様々なハンディを持ったメンバーへのアプローチに関する事などの質問を頂き、県職員の皆様にNPOの現場を知って頂くよい機会にもなりました。



自転車バザー

9月よりリユース自転車バザーの開始時刻が10時となりました。自転車バザーは毎月第4日曜日10時～19時の開催となります。

体験実習

9月23日10時～19時、徳島文理大学人間福祉学科2年生岡田君

10月5日～6日10時～19時、阿波高校3年生 井内さん



ボランティア

7月4日～9月29日、曾我部さんがボランティアとして当会の活動に参加して下さいました。記録づくめだった暑い夏、毎日2時間、積み込み、運搬などの作業を手伝って下さいました。

「今までいろいろボランティアをやってきたけど、ここが一番楽しかった」とのコメントを残して行かれました。ありがとうございました。



宿泊研修 2013 in 広島 報告

平成 25 年 10 月 28 日～29 日、公益財団法人徳島県福祉基金より「地域活動支援センター等利用者の社会参加を促進する事業」として受けた助成金に自己資金を合わせ、太陽と緑の会リサイクル作業所及び太陽と緑の会月の宮作業所合同の宿泊研修を広島県にて行いました。研修の参加者は様々なハンディを持ったメンバー、スタッフ、ボランティア、計 34 名です。

広島平和記念資料館では、6～7割のメンバーがここに見学に来るのは初めてとのこと、原爆投下前と投下後の街並みの変貌の様子を示したジオラマ、爆風で湾曲した鉄扉、ガラス片が突き刺さった壁、血だらけの学生服などの遺品の数々を見ました。

マツダミュージアムでは、歴代の車種や製造工程についてのレクチャーの後、実際に製造ラインを見せて頂きました。

研修のメインは、広島市北部で障害者支援事業に取り組む NPO 法人ウィングかべです。平成 3 年精神障害者の作業所として開所、平成 15 年に NPO 法人格を取得し、小規模通所授産施設を経て、就労継続支援 B 型事業所へ移行。「お菓子工房エール」「まちの寄合所喫茶・食堂 亀楽庵」「コミュニティサロン可笑屋」を運営。事務局長の佐々木さんのご案内のもと、順番に見学させて頂きました。

可笑屋で、オリジナルブレンドのコーヒーと、古代米定食を頂きました。コーヒーの作業はメンバーさんだけで行っており、ウェッジウッドなどのティーカップもメンバーさん自身が選んでいます。

可部地区の非営利・地域貢献活動団体(今年は 22 団体)がここ可笑屋に集まる「屋台村」のイベントも毎年開催しているそうです。

佐々木さんのお話をお伺いし、メンバーを「福祉対象者としてではなく生活者として」考え、福祉の枠を超えた広がりつつなかりを模索し、「街づくりの拠点として福祉を活用していく」という実践の一端を垣間見ることができました。



可笑屋
平成 18 年
開所

旧街道沿いの築 150 年の
繭問屋を
改装

1 階、2 階、
中 2 階とあり
ます。

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2013年8月1日～2013年9月30日§ (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付を下された皆様

三好、九次米、匿名、匿名、吉田、三輪、谷、中村、板東、円乗、匿名、匿名、般若院
募金箱、高野、匿名、板東

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○三角、阿部、西、有井、浜本、田中、小原、小川、三木、高木、山田、大栗、内田、
山下、内山、扶川、藤井、湯浅、佐川、城福、山本、平山、宮田、土肥、河野、藤澤、福田、吉
岡、小口、水口、石原、久穴、坂野、久保木、浜田、竹村、南部、松村、泉、高橋、水間、佐伯、
松本、黒川、松原、沼田、堀江、犬伏商店、林、井上、木村、高田デザイン事務所、飯田、富岡
医院、橋本、井口、矢野、岡山、坂本、森下、米沢、赤沢、角田、浮津、岩城、貝出、志摩、多
田、高根、岡本、長尾、水谷、宮島、北島、平川、佐野、近藤、日下、大下、岡田、三枚、原田、
脇谷、森、山崎、大八木、渡辺、田口、谷口、川人、新居、すぎの子保育園、松永医院、仲島、
チケット徳島、山川、角田、佐藤、宮本、新井、四宮、武知、中田、布川、谷、松田、福家、市
川、粕井、笠井、杉山、栗谷、工藤、三好、井原、大槲、南、井内、鴻野、三輪、吉井、西浜、
久次米、コスモスハウジング、藤原、米本、東倉、福本、Dコム、瀧倉、増田、出口、岩佐、高
田、坂東、東條、浅田、後藤、栗坂、馬淵、林、樋口、井藤、宮内、梅津、太田、中尾、月岡、
藤永、石田、福岡、斉藤、(株)旭洋、平野、河野、佐中、正城、折坂、田井、フレッセ、長谷川、
前田、岩本、野村、鈴木、穴吹ハウジング、武市、飯島、漆原、美馬、吉田、高島、村崎、前川、
竹村不動産、小西、木内、武田、鉄野、慈船寺、瀬戸、岡、長瀬、浅上、川道、真鍋、佐伯、小
山、中西、山口、矢野、下田、棚上○石井町○割石、武田、中木、遠藤、清重、後藤、(有)総運、
福田、田中○藍住町○林、斉藤歯科、中島、福本、笠井、金森、芥川、城、森、斉藤歯科医院、
山田○吉野川市○大村、渡辺、宮田、美馬、新見○板野町○大塩するめ徳島出張所○阿南市○中
野、中本、円乗、福○鳴門市○大和、石井、篠原、田村、浜田、木村、白鯛、阿波銀行鳴門支店、
林、村澤、久龍、宝来、三木○松茂町○阿部、西○北島町○井内、山田、御堂、向、山崎、結城
○小松島市○大森、内藤、池添、濱崎、田上、登、矢部、豊栖

品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○山口、杉浦、山本、塩田、福本、藤野、水間、井上、常楽園、中津、宮崎、小林、坂
東、村瀬、田井、柳生、池光、照本、久次米、水落、友成、朝川、田中、流、富田、柏原、森本、
武智、上田、南、岡本、栗尾、西森、厚美、橋本、山下、NPO法人四季の会 杉山、岡島、佐藤、
喜田、谷、大石、福原、美記、佐野、林、杉本、以西、岸田、荒川、杉崎、佐々木、矢野、篠原、
真樹、岡部、原田、徳元、大山、吉田、藤岡、田村、大原、後藤、杉原、大北、三浦、宮井、能
田、谷口、浜本、長尾、石鎚、宮本、松下、香川、榎本、西野、棧敷、榎本、松浦、柳沢、横田、
板東、松本、柳澤、友成、金川、高原、西村、昼間、三宅、野口、河野、多田、中尾、中山、吉
岡、桧尾、猪井、溝抗、森、守屋、川人、山内、岡田、鈴江、名田、山田、中岡、浜崎、美馬、
川端、野崎、松尾、松浦、三好、米澤、東條、高橋、平山、加藤、津保、嶋田、小川、浅上、笹
山、奥野、高岡、末政、近藤、柏木、西川、坂口、財田、北原、池口、滝山、上山、松野、清水、
沢、加藤、古川、姫野、岩崎、米崎、藤井、岩本、土井、鈴木、川野、櫻井、大島、都留、窪川、
津田、和田、三木、木下、(株)GANGD、小泉、岩城、撫養、友竹、榎本、遠藤、日野、西岡、山中、
長谷川、松島、濱田、榎山、鎌田、出口、岡、大西、山西、門田、木内、尾崎、中平、玉田、柿
久保、市原、森永、赤岩、野々瀬、明石、武市、粟飯原、井内、木村、新谷、西、照本、斉藤、
花岡、坂巻、久米川、日下、朝日、大井、七條、滝口、内野、立石、川島、高田、生野、秋月、
中村、越、長崎、藤田、向湯浅、石原、城福、大下、今治、栗坂、曾我部、廣島、庄野、楓、小
澤、郡、都築、渡辺、榎本、高木、芦田、戸川、東口、黒田、廣島、大隅、松谷、大柳、栗林、
十河、大家、石川、谷屋、飯島、漆原、生田、松田、パヤサカルソ、宇山、下山、小岸、榎、水
田、久米、北井、大久保、永野、大藤、為実、住吉、福岡、樽井、榎木、太田、大林、梶本、佐
中、広島、日好、上原、富尾、今獅子、祖父江、柏野、天野、萩原、横手、中園、小賀野、秋山、
蓑手、吉見、森川、福良、奥村、露田、氏家、大上、釜内、武田、藤本、笠井、斎賀、宮内、真
田、都築、岡村、南部、西分、西浦、秋田、カトリック徳島教会、吉崎、中原○北島町○福原、

岩木、多田、佐川、矢部、池形、橋田、河野○石井町○永岡、岡本、藤本、吉本、宮浦、遠藤、犬伏、浅井、井内、矢車、尾崎、鎌田、福島、大西、野村、奈良、大石、山口、北、堀井、斉藤、武田、住友、岸上、佐藤、泉、村本、北野、本庄、尾崎、近藤、山西、久米、坂口○吉野川市○金子、有持、浅山、川原、味戸、谷、新見、田村、福島、佐野、露口、片岡、渡部、岡崎、中西、石田、山本、楨内○小松島市○新居、松浦、徳山、飛田、森、福本、大槻、廣田○板野町○中西、鎌田、岡本、高橋、フロスト、安村、高橋○神山町○室田、糸井、山内○鳴門市○賀川、武林、石丸、大江、近藤、藤村、高松、新田、原田、梶本、林、広田、近藤、木村、大石、吉成○藍住町○瀧山、高田、宮本、土井、姫野、井上、里木、四宮、武内、浅波、北岡、三好、坂本、船越、井上、小笠原、赤石、貞野、河野、古川、川田、氏家、南、木内、大下、吉田、坂東、森、亀谷、中島、井原、大野、浅川、荒井、新居、藤木○阿南市○歳平、近藤、松田、阿部、田村、武智○松茂町○千葉、森、朝井○つるぎ町○谷○海陽町○谷岡、神沢○美馬市○黒岩○阿波市○瀬尾、岡田、原田、須見、高島、割石、笠井、渡辺○上板町○柏原、森、日下、島羽、阿部、美馬○東みよし町○岸田○美波町○内原、郡○広島県○福澤○埼玉県○吉田○千葉県○益田、池田○大阪府○熊野○香川県○香川県隣保館連絡協議会○福岡県○永峰○福島県○小野○新潟県○佐藤○愛媛県○濱田

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられ、実際は上記の3倍以上の方のご協力を頂いております。またカレー、ポテトサラダの差し入れをして下さった河野様、みかんの差し入れをして下さった多田様にもこの場を借りてお礼申し上げます。

頂いた品物は大切にリユース・リサイクルし、障害者の支援、ボランティア育成、他団体への支援などに役立てています。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。



編集後記～忘れてはいけないこと

観測史上最高という季節外れの残暑が続く10月の初め、そよかぜの家の機関紙「そよかぜ通信」が届きました。昭和60年に障害者共働作業所そよかぜの家として活動を始め、平成24年度から就労継続支援B型事業所に移行されました。

読み進めて行くと、職員の三枝さんが書いていらっしゃる文章が目にとまりました。ちなみに、三枝さんは20年以上関わっていらっしゃるそうです。

(以下一部抜粋です)

「今、そよかぜの家は、就労継続支援B型事業所になってしまっている。障がいをもつ人は利用者となり、私たち健全者と呼ばれる人間は、支援者となった。

障がい者も健全者も対等に！！というポリシーで始めたはずのそよかぜの家が、障害をもつ構成メンバーのことを利用者と呼ぶ。私は、サービス管理責任者となった。その責務として、支援計画を作成し、それについての成果も、考えて記していかなければならない。「何様だ！！」と自分で思っている。でも、そう思いながらも、就労継続支援という制度の中で責務を果たしていると、制度に慣れて行く自分になっていることを発見したりする。そよかぜの家を存続させるためには就労継続支援B型事業所になるしかなか

った。だけどそよかぜの理念を失ってはいけない。障がい者と健全者が対等な立場で社会を構成していくという人権問題を私たちは、忘れてはいけないと思う。」
(以上抜粋終わり)

共同作業所から就労継続支援事業へと移行すれば、多額の公的資金が導入され、事業の選択肢も増え、施設運営は安定し、職員の生活も保証できるようになります。

特に徳島県のように、地域活動支援センター・障害者地域共同作業所（小規模作業所）への補助金が低い地域では、東京・大阪・京都・滋賀などに比べて、移行による経済的効果が大きく（作業所によって差はありますが、3～4倍くらいの公的資金の増額）、制度開始後、移行が相次いだのも、施設経営の観点から言えば、妥当な判断かもしれません。

しかし、多額の公的資金を頂く以上、相応の「責務」が伴います。運営体制や職員体制も変わってきます。その流れの中で、活動の原点や理念はどうなっていくのか、という良心の叫びが、三枝さんの文章から伝わってきました。

「何のための、誰のための活動か」
やはり、最後に行きつく所はそこでしょうか。(小山)

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々（市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら年間300日、土、日、祭日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く、豊かであることを願っております。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120

徳島県徳島市国府町南岩延107-1

TEL・FAX 088-643-1054 (事務局)

088-642-1054 (リサイクル)

URL <http://www.t-midori.org/>

E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp

代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎

データ入力・製本 岡田郁子

製本・発送 福住ヒサヨ 宇津辰則 走川幸児

年会費：正会員1万円 準会員1,000円

郵便振替口座：01620-8-44703